

## まちの先生講座とは？

「まちの先生講座」は、入間市生涯学習をすすめる市民の会と入間市教育委員会が主催する講座です。

学んだことを地域に活かしたいと考えている市民が「まちの先生」として登録し、講師となって講座を開催します。

まちの先生と市民の受講生が協力しあって運営する形の手作りの生涯学習講座で、講座の準備や片付けはみんなで行います。

## 「いるまなびと」とは？

いるま／まなび／ひと／ナビの造語「いるまなびと」は地域の仲間と学び合う市民を表しています。入間市の生涯学習のキーワードです。



※ いるまなびと：  
地域の仲間と学ぶ市民、いるま／まなび／ひと／ナビの造語

## 「入間市生涯学習をすすめる市民の会」とは？

「市民と行政がそれぞれの強みをいかし、両輪として活動する」という協働の意図のもとに1995年に設立した市民のボランティア組織です。

「いるまなびと」に市内の学び情報を提供すると共に、学びを支援します。

いるま生涯学習プラン21（入間市生涯学習推進計画）に基づいて行政と協働しています。

# どんな活動をしているの？

○生涯学習フェスティバルの開催

第26回(2021) いるま生涯学習フェスティバル

オンライン de いるまなびと

Web配信期間 12/12(日) ~ 12/25(土)

特設サイト <https://lrumanabito.net/online2021fes/>

QRコード

いるまなびと

○「まちの先生講座」の開催



○生涯学習けいじばん」の設置&管理



○「生涯学習通信」の発行

あなたも「いるまなびと」になろう！

「生涯学習通信」

第24号 Vol.24

再びのコロナ禍、進化した！第26回いるま生涯学習フェスティバル「オンライン de いるまなびと」2631回視聴！

今回の実行委員会の立ち上げはコロナ感染症の拡大で8月中旬になり、実行委員も最小限の人数でスタートしました。実行委員会で中止という選択でなく、どのようにしたら開催できるか？コロナ禍での開催はどうかあるべきか？などの課題について全6回のオンライン会議で検討しました。最終的にはオンラインで開催することになり、参加者数に不安はあったが、募集結果は37団体（個人含む）と予想以上の参加があり嬉しい驚きでした。

市内では親睦会や公民館文化祭などが中止になり、発表の場を失った方々や、オンラインという新しい形に興味を持った団体が、自ら企画開催したり、入間ケーブルTVや市民の会のメンバーと共同で企画開催したり、オンライン開催にチャレンジしました。ところが、開催中の発表や写真等には著作権に関わるものがあり、主催者側も参加団体も一から著作権について学ぶこととなり、まさに生涯学習でした。

開催期間は2週間（12/12～25）と短期間でありましたが、どこでも観ても観ることができるとても良さもあり2600回を超える視聴がありました。

次年度は感染症拡大の数字に懸念することなく、オンラインによる開催を早期に決定してスタートしてはどうか、という積極的な意見も出ており、次回はより一層盛大なるフェスティバルにしていきたいと考えています。

第26回生涯学習フェスティバル実行委員長

入間市生涯学習をすすめる市民の会 会員募集！

- 入間市生涯学習をすすめる市民の会の会員になると、
  - 市民の生涯学習活動に参加しながら幅広い分野で学べます。
  - 知識を体験しながら学び、魅力ある仲間と出会えます。
  - 他市への視察研修もあり、視野が広がるボランティアです。

生涯学習通信20220901

あなたもわたしも

いるまなびと♪

入間市生涯学習をすすめる

市民の会



生涯学習先進市や近隣市との情報交換&交流など